



一般社団法人北海道大学山とスキーの会 2024 年度第 5 回理事会議事録

日 時 2025 年 3 月 26 日(水) 19:00～21:15

場 所 ZOOM 電子会議

出席者 (理事) 森、丸谷、秦、吉村、武藤、長島、関、伴、関戸、堀内 (10 名)
(監事) 福島

欠席者 三代、寺山、深田、牧野 (4 名)

資 料 事前メール添付されたファイル類および当日 Zoom にて使用されたファイル他

1. 理事会の成立：理事 14 名中 10 名の参加を確認したので、定款に則り、この理事会を成立とする。

2. 議題 1：2025 年度定時社員総会開催及びその準備日程等について

(1) 開催日、開催場所、通知、総会資料原稿締切日、総会前理事会の開催などについて、事務局案を提示して協議した結果、次のとおり修正することで議決した。

(2) 議決した内容：

- ① 開催日時と場所：令和 7 年 6 月 28 日（土）14：00～ シルバーロッジにて
- ② Zoom の利用法：議事の進行を円滑に行うため、Zoom での参加は、理事を除き、視聴のみ可とする。議決権を持つ視聴者が議案に意見や質問がある場合には、昨年同様、案内文書に記入欄に書き込んで事前連絡を事務局が受け付ける方法でお願いする旨を記載して対処する。
- ③ 開催通知：6 月 13 日（金）の発信とする。
- ④ 通知方法：HUSV-NET とネット環境無しの会員には郵送。案内や議案書は HP に掲載して、リンクを HUSV-NET で通知する。
- ⑤ 総会資料原稿締切：6 月 11 日（水）とする。
- ⑥ 総会資料の確認理事会：6 月 9 日（月）19：00～とする。

3. 議題 2：2025 年度社員総会の議題について

(1) 報告事項

- ① 会員数の移動状況について
 - ・ 理事会資料にて説明した結果、質疑応答なし。
- ② 2025 年度活動計画
 - ・ 法人になり、活動計画および予算計画は理事会承認の後、総会報告事項となった。
 - ・ 理事会資料にて説明した結果、以下を追加修正することとした。
 - 白馬集会は関東・甲信越・中部支部の合同企画とする。
 - 低山山行（西日本支部）2025 年 10 月中旬を追記する。
 - こなゆき第 47 号の発刊を 2025 年 9 月に再修正させて欲しい。（承認）
（対象期間：2023 年 4 月～2025 年 3 月として、深田新編集委員長に堀内が協力する）
 - シルバーロッジ運営・維持管理：屋根の煙突周りの問題を解決する。ロッジに向かう階段に手摺を作ったことは来訪者の安全確保上で有効であった。
 - パラダイスヒュッテ維持管理：防腐剤塗布や井戸掃除などが、この数年間でできていないので、これをきちんとやりたい。（年間維持項目を再整理する）
 - 山スキー部活動支援：シルバーロッジ集会への参加の誘いと余っている会員名簿を現役に配付して旅行の際に立ち寄ることを推奨する。



③ 予算計画

- ・ 理事会資料にて説明した結果、以下を修正することとした。
 - ロッジ関連費：光熱費・予備費等の明細は別途明細を作成してある。
 - 事務局としてのネット環境整備・管理費：13 万円予算を 9 万円予算に縮小した。
 - 当年度収支：実質的な当年度収入が約 100 万円に対して支出が約 120 万円だと繰越金が減る。この予算書だと、それが読み取り難く、収入が潤沢にあって大丈夫なように見えてしまうので、会費徴収改善委員会が作成した別表を継続添付して、説明を加えたい。（それは、このタイミングではなく、当年度会計の収支報告の際に行うこととする。）

④ シルバーロッジ管理報告（森会長作成予定）

⑤ パラダイスヒュッテ管理報告（黒澤委員長策定予定）

⑥ 無意根小屋残焼物撤去作業報告（6 月に作業を行う計画なので、その内容を総会報告する。）

⑦ 無意根小屋再建検討委員会の発足（この後の理事会議題で承認を得たら総会報告とする。）

⑧ こなゆきの発刊について（堀内作成予定）

(2) 決議事項

① 2024 年度活動報告および決算報告

- ・ 今回は資料作成がまだなので、次回理事会で審議し、総会決議を得ることとする。

② 会員の承認について

- ・ 入会の承認：現在現役の藤巻、丸山については、入会の意思表示待ちとなっている。
- ・ 永年会員への移行承認：
 - 対象者が緑川氏 1 名：滞納会費は分納で支払う意志を示していただいているので、永年会員になっていただいてから請求を続けることで了解いただきたい。（異議なし）
 - その前の代の永年会員移行について、前年総会で承認手続きを逸してしまったことから、今年度の総会で合わせて後追い承認をいただく予定とする。（承認する）

③ その他

4. 議題 3：無意根小屋の残焼物撤去について

- (1) 撤去・搬送・処理の現役及び若手 OB 担当として、大島、池井、徳井、膝館から手挙げがあり、山とスキーの会から吉村氏に担当をお願いしたい。（吉村氏了解）（異議なし）

- (2) 実施時期は 6 月を予定。

- ・ 作業は複数日程を予定か？（そうなると思う。残量は現役をお願いすることになる。）

5. 議題 4：無意根小屋再建検討委員会の発足について

- (1) 3 月 2 日に現役の意見を聞いたが、再建についての腰が重そうだった。

① 現役からのヒアリングで理由は次の 3 点あると聞いた。

- ・ 未だ、小屋を焼いてしまったというショックが続いていて、前を向く気持ちになれていない。
- ・ 現役が学校から厳重注意を受け、報告書を作成する議論の中で、原因や対策を細かく追及して行く中で、再建をしてもらえたとしても、管理できるという自信を失いつつある。
- ・ 小屋管理をしっかりやろうとすると山行に出る回数が減少することで、部内のレベルアップが難しくなるというジレンマを抱えている。

- ② 森会長からは、「今から心配事項を気にせず、その時に対処法を検討して行けば良いのではないかな。積極的に前を向いて進もう。」と伝えている。「出来れば無意根小屋を知っている現役が残っている間



に再建を果たそう。」ということも伝えた。

(2) 大半の会員が再建したいという思いであると思うが、出席の理事はどうか。

⇒再建するとなれば、今の現役が残っている間にやりたい。

⇒小屋は、当初の小屋と同じようなものを作るのか、それとも今の時代に合ったコンパクトなものにするのか検討したら良いと思う。

⇒現役とチームを組んで進めるとして、リーダー役はどちらが？（山とスキーの会でしょう）

⇒前に進めて良いと思うし、できれば早い方が良いと思う。

(3) 4月に発足させるということで良いか？（異議なしで可決）

(4) 設計の中心メンバーはどうするか。（若い世代が良いので、伴さんをお願いして、武藤さんがサポートに廻る）

(5) 大学などの関係団体との折衝もこの委員会が行うことで良いか？（そのとおり考えている。）

6. 議題5：会報こなゆきについて

(1) 発刊が1年遅れとなった理由については堀内から説明する。

(2) 新編集委員長を深田さんで進め、電子配信を基本として印刷物のコスト削減を図りたい。

(3) 過去に印刷物が欲しいと言っていた人のリストを探して、どうしても印刷物が欲しい人を確認して、簡易印刷等でコスト削減を検討する。（堀内がリストを持っており、2021年の時点で回答者142名中、印刷物希望者は58名であった。）

7. 議題6：卒部者名簿について

(1) ひな型のままで良いということで合意した。

8. 議題7：会費納入状況の開示・閲覧について

(1) 会員専用ページに名前と滞納金額を開示して、納入率を良くしたい。

(2) 目的：

- ・ 滞納者を払う気持ちにさせて、納入率を上げたい。
- ・ 自分の滞納額を知る意味でも便利。
- ・ 個別の滞納者の金額を郵送することは、事務手数料が掛かり、その手間を省略したい。

(3) 公開によるデメリットもありそうで、複数のサンプルを作成してみて、次回の理事会での継続審議とする。

9. 議題8：パラダイス祭の実施について

(1) 6月に「パラダイス祭」を開催し、山スキー部1年目を招待する。

(2) WVに事前アナウンスをすること、費用は参加者の会費で賄うこととする。

(3) パラダイス基金の目的は小屋の管理目的であることとWVとも共有している基金なので使えない。

(4) 管理委員長の黒澤氏に伝え、実行に移すこととする。

(5) 理事会は以上を条件にこの実施を承認する。

10. 議題9：その他

(1) 部車の覚書を3月2日に現役と交わした内容を確認した。

(2) 2025年度の活動計画について、最終行に「その他」を加えることの提案があり、賛成した。

(3) Zoomでの意見審議は、時間が掛かることとエンドレスになり易いことから、事前に提出を求める。

(4) HUSV-MLについては、管理者を現行のままとしており、会員以外の利用も可能にしている。

(5) 会を法人にする際に会長は、出来る限り任意団体の運営のままを残すとしたが、各支部長はどのようにこの一年を経て感じているか。

- ① どの支部でも、特に大きなトラブルや問題点は出ていない。



- ② 議事録作成の負荷は、Zoom でも AI が作成できるようになって来た。
- (6) 監査報告書は、法人になったので今回から変わる。
- (7) 現役の山行自粛が解除されたが、山行はすべて完了したのか？
これからであり、4つの山行の内1つは没にしたと聞いている。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、出席した会長及び監事がこれに記名押印する。

令和7年3月31日

一般社団法人北海道大学山とスキーの会

会 長 森 康



監 事 福島 裕之

